

校長室だより



(海南小ホームページ)

「イブキっ子タイム(生活・総合的な学習の時間)の紹介

本校では昨年度より生活科(1・2年生)、総合的な学習の時間(3～6年生)の研究を進めています。授業で子供たちに育てたい力は何か、どのようなテーマで授業を進めるか、研究の視点は何か、などを協議し、今年度の取組を進めています。どの学年も子供たちの学びが深まりつつあります。先日の4年生と6年生の研究授業も素晴らしいものとなりましたのでご紹介します。

「海南の自然を守る・伝える～We are Nature ナビゲーター～」

6月4日(水)、4年生では調べて分かった海部川の魅力をグループで話し合い、伝えたい内容をキャッチコピーにしました。まず、グループでみんなに伝えたいことを出しました。そして、共通点や違いを話し合い伝えたいことをまとめていきました。4グループがそれぞれにまとめたキャッチコピーが次の通りです。どのキャッチコピーもよく話し合い、子供たちの自信作です。

「ふたつとない海部川の魅力!!」「海部川で遊んで特産品(アユ)を食べてほしい」「海部川のゴミを減らして生き物の場所を広くしよう」「天然の生き物いっぱい海部川」



伝えたいことを出し合う



共通点や違いを話し合う



キャッチコピーにまとめる

「つなげ! ぼくらの命 ぼくらのふるさと ぼくらの未来」

6月11日(水)、6年生では、海陽町の地震・津波についての意識アンケートやこれまで学習してきた内容をもとにこれから自分たちが解決すべき課題を考えました。まず、個人で課題を出し合いグループで課題を共有しました。その後、「命を守るためすべきことの中から、6年生のみんなのできることを決めていきました。総合の学習では、このような課題設定の授業が難しく、子供の意識と教師の意図の両方を盛り込む必要があります。6年生の授業は、見事に両方がいかされた課題を設定することができました。設定したものは、「避難場所の確認」「避難道が安全かの確認」「避難経路の整備」でした。



課題を出し合う



課題を共有する



グループごとに発表する